



市民の手で市民活動を支える

特定非営利活動法人

宝塚NPOセンター

通信
No.64
2010. 9

「私とNPO」



特定非営利活動法人 宝塚芸術文化学舎
理事長 田宮 緑子

今年3月、宝塚ベガホールに歌手の米良美一さんをお迎えし「日本の童謡唱歌を伝えていこう」という伝承目的のNPO法人設立記念コンサートを開催しました。

宝塚市とNPO法人宝塚センターにご後援をいただき、宝塚の複数の企業様にご協賛をいただくなど、皆さんの温かいご協力のお陰で、ベガホールの約400席は満席となりました。あらためて御礼申し上げます。

私たちは、文化・芸術の振興と生涯学習の推進を宝塚から全国へ向けて発信することを目的としています。普段このようなコンサートを含めさまざまな分野の文化講座を企画していますが、とりわけ、地域色を活かした講座を開講して、地域間のネットワーク化を強めるという新しい生涯学習の形を創り続けています。

現在多くの自治体や大学等でも充実した内容の文化・芸術に関する生涯学習講座が設けられています。しかし、お隣の市町村でこういった文化や学びの場があり、活動がなされているかについては、まだまだ見えない状況です。そこで現在、宝塚を中心に大阪、堺、枚方等で主に地域文化を

軸とした講座を開講し、互いの地域文化を再認識する楽しい学びの場の提供、さらには文化・芸術を中心としてまちの活性化に繋げる役割を担いたいと力を尽くしています。

私たちが最も大切なことと考えるのは、参加される皆さんが自主的に講座企画、運営に取り組み、地域間のネットワーク化を実現するという点です。それを実現するために必要なことは、安易に行政の支援（つまり税金）に頼るのではなく、市民が自立的に、文化、芸術、教育分野に貢献できる役割を果たすことが可能な環境を創ることだと考えています。そのような環境の中で、自立した個人による文化・芸術等の学びの場・楽しみの中の創造が、その人や周りの人たち、さらには地域社会の成長を促し、私たちが理想と考えている「文化が経済を引っ張る」という形で地域活性化が実現すると確信しています。

私たちがNPO法人となりましたのは昨年末でしたが、それ以前から、清荒神清澄寺内での富岡鉄斎に学ぶ講座、宝塚の里山保全の講座、そして韓国語講座など数多くの講座を開講してきました。また4年前より宝塚教養学校を開校し、メディアでご活躍の著名な文化人の諸先生にご協力をいただき、講座や講演等を開講しております。NPO法人宝塚文化芸術学舎と宝塚教養学校は、文化・芸術振興と生涯学習の推進という同じ目的に向け、異なったアプローチで運営しております。今後もそれぞれの役割を活かし、その目的を成就するべく活動を続けて参りたいと思っております。

NPO法人宝塚NPOセンターには、多くの宝塚のNPO法人の皆様が集い有意義な活動をなさっております。今後は他のNPO法人の団体の皆様とも互いに共有できる内容の講座等の企画などに取り組んでいきたいと思っております。よろしくごお願い申し上げます。

平成22年度も半年が過ぎました。昨年度より仕事も組織も随分新しくなりました。4月から事務局の仕事を中山事務局長に代わり私は専務理事になりましたが、仕事の量は多少減ったものの新規事業を担当しているせいか、なぜか忙しくあっという間の半年でした。

この半年で完結した事業は、昨年から継続して事務局を担っていた「宝塚市総合計画策定審議会」です。10年後どんな宝塚市にしたいのかを検討する市民会議を36回、審議会を23回と計59回の会議を持って議論を重ねてきました。この計画は最終的に市議会に諮られ来年度から実施されます。

結論を言うと、市民が参画してつくることが第一歩となり各々が自分の出来る持ち場で市民の力を発揮し、行政と協働してまちをつくるというのが方向性です。

だから、私たちはNPOの立場で出来ることを行政と話し合いながら行い、新たな公共のサービスを行い住みよい宝塚市を作っていきます。

企業や大学の立場から出来ることもあれば、一市民として出来ること、また市民活動団体に加入したり自治会やまちづくり協議会で市民力を発揮する道もあり、市民が行政任せにせず、市民主体となりまちをつくる事が出来れば、本当にいいまちになると信じます。

あとは市民にこの「宝塚市総合計画」を分かってもらい実行に移す段階で、どれだけみんなが力を合わせる事が出来るかだと思います。

私は人にやさしいまちをつくりたいと個人的には思っています。それは事務局をしていたので意見は述べませんでした。色々なNPO法人が課題解決やまちの活性化のために起業し、コミュニティビジネスとして事業を行えば、多くのサービスが生まれます。

今相談中の起業案でもこんながあります。

たとえば「親の介護を在宅ですてあげたい事業」

や、「空きマンションをウィクリーマンションにする事業」や「農業で就労計画事業」や「婚活支援事業」「イベント何でもやります事業」、「塩素なしの安心安全な飲料水事業」「農家支援事業」などがあります。

こうした心ある起業案に出会うたびにどうしたら実現できるか私は頭を絞りネットワークを駆使し起業家と話し合いながら事業化を目指しています。相談はすべての基本で大切にしているのですが今年度は市内から月平均60件入っています

最近楽しいイベントを兵庫県や宝塚市の支援を頂き行いました。それは上記の一つ「婚活支援事業」です。

8月22日と9月5日の日曜日の午後、中川智子宝塚市長から「パートナーのかしこい選び方」と「こんな人と結婚したい」についての講演があり、その後、ワークショップで交流をしました。

私は親の方を担当したのですが50名中10名が結婚しない子を持つ親と世話人になりたい人でした。そこはとても盛り上がり今後も継続したいという声があり、事業性もあるので次回の日程を決めるまでになりました。

さて若者チームですが、良く電話して申し込んで来てくれたと感動しました。80人も応募がありました。何となくの感想ですが、いい子でおとなしい。又仕事に忙しく結婚する機会を逃しているという感じを受けました。活発に男女交際をしている若者ばかりではなかったのです。とてもいい人たちが来てくれていました。これは是非、いい相手を紹介してあげたいとおせっかいおばさんとしては腕がうずきました。今後の盛り上がり期待しています。

また恒例の「第6回ソリオ宝塚ふれあい夏まつり」も開催され、みんなで盆踊りも踊りました。暑くて大変でしたが司法修習生もインターンで来てくれて充実した夏でした。

宝塚NPOネットワーク会議 開催

2010年9月5日(日) 10:00~12:45 会場：宝塚市立男女共同参画センター

当日は日曜日の朝にも関わらず宝塚市内 20NPO 法人 (24 名)、宝塚市役所から 7 名ご参加いただきました。森専務理事からは「NPO 活動は市民のための“公益的なサービス”を行っているが、自己評価が低い“こんな活動をしています”と自慢してほしい」とのメッセージで会議の幕が開きました。中川市長からは「宝塚市内 NPO 法人へ期待すること」として「支え合いの街」をキーワードに「ご一緒」という言葉を大切に、今日の NPO の話を伺い繋げていくことが私の仕事と考えているとの挨拶がありました。住まい政策課よりは「宝塚市空き家住宅情報バンク制度」の説明のあり、活動拠点がなかなか持てない NPO 法人には有効な情報となりました。

NPO 法人からは「私たちは△△法人は市民のために〇〇サービスができます」と表記して頂き活動を PR し、市長からは 20NPO 法人全部へ丁寧なコメントとお礼が述べられました。これに対して NPO 法人からは「行政からの出席は有意義」「市との協働について具体的にイメージできて良かったです。市長に直接ご意見頂けることが有意義ですね」「お互いに手をつなぐ活動につながる事が出来れば、大きな事ができそうな気がします」などのご意見をいただきました。最後に市民協働推進課の梁田課長からは「NPO 活動がイメージ出来た、発表内容で少し内容を変えれば実現できるものもあり、今後注目していきたい。団体同志の横の連絡も取りながら、さらに厚みのある活動にしてもらいたい」とご意見をいただきました。その後は名刺交換会となり予定時間を 45 分も超加し盛会の内に終了しました。



☆宝塚市内 NPO 法人が PR したメッセージは当センターのブログで見ることができます。

<http://www.hnpo.coms.apo.net/weblog/myblog/156/27465#27465>

検索



知っていますか？

ひょうごアドプト

「ひょうごアドプト」とは、河川や道路など公共のエリアを、地域の皆さんが自分の子どものように、受け入れてお世話いただく制度です。宝塚NPOセンターは、NPO法人が事業委託をしている県内唯一のモデルケースとして、阪神北県民局と協働でこの事業を推進しています。

活動をすることで地域への愛着感を持ち新たなコミュニティのつながりを作ることを目的として、阪神北県民局管内では、33のアドプト団体が、河川の道路の草刈りや六甲山グリーンベルトの整備事業などに取り組んでいます。8月には、宝塚の武庫川の左岸の草刈りをしている3グループが、活動場所に1000個のキャンドルを並べたイベント「光の道しるべ」を開催し、多くの方に喜んでいただきました。

♡ ♡ ♡ ♡ ♡ ♡ ♡
11月には、第2回「ひょうごアドプト チャリティ☆フェスタ」を開催します。このフェスタは、アドプトの活動資金を自分たちの手で集めようという活動グループの発案で、昨年からはまったものです。豪華景品の当たるゲームもあります。ぜひ、秋の一日を武庫川の河川敷で楽しんでください。

第2回

ひょうごアドプトチャリティ☆フェスタ

日時：11月6日(土) 11:00~15:00
場所：宝塚市 武庫川河川敷宝塚大劇場裏
出展内容：ステージ、バザー、野菜販売など
※雨天中止(小雨決行)

「NPO・コミュニティビジネスの日」相談日のご案内

「NPO・コミュニティビジネスって何だろう?」「ちょっと興味がある!」「ぜひ学んでみたい!」「ぜひ立ち上げてみたい!」そうお考えのみなさんに、宝塚NPOセンターのスタッフが、NPOの現場の声などもお伝えしながら、さまざまな相談に応じます。お申込みは前日までにお願いします。TEL:0797-85-7766

今年度の相談日は以下の通りです。

●10月15日(金) ●12月15日(水) 2011年 ●1月15日(土) ●2月15日(火) ●3月15日(火)

☆☆☆ふれあいの祭典 きらっと☆北摂フェスティバル☆☆☆

今秋「ふれあいの祭典」が阪神北地域で開催されます。会場は都市近郊の自然あふれる里山が舞台で、北摂4市1町のきらっと輝く魅力が舞台や会場で、また今回は高い市民力を誇る阪神北地域で地域づくり団体や大学、そしてNPOが様々な催しを展開します。当センターは兵庫県より「地域づくり活動担い手育成事業」を受託、ふれあい塾では「NPOの理解促進・防災の備え」をテーマに10NPO法人が出展します。是非、お越しく下さい!!

日時:2010年10月16~17日(土~日)

会場:県立有馬富士公園・休養ゾーン

テーマ:『5つの輝く個性が奏でるハート・北摂』

会場紹介:エコと健康の広場、わいわい手作り

広場、全県・北摂まるかじり広場(グルメ・特産物等)、多世代交流ひろば(ニュースポーツ体験等)みんなの発表広場、野外特設ステージ

☆☆ふれあい塾☆☆ ~NPOの理解促進・防災の備え~

- ・日本災害救援ボランティアネットワーク-防災体験(トリア)、竹炭石鹸作り
- ・あ・ぶり-フワ-ルンガ Mt.、授産品販売 ・とんとん-安心安全な新鮮野菜販売
- ・宝塚エルパイレFC-サッカー教室、サッカーゲーム ・よつ葉会-クッキー、パン販売
- ・国際インクル協会-伝統工芸品販売 ・コミュニティリンク-ツイッター講座等
- ・関西アロマ・セラピストフォーラム-アロマハンドマッサージ、ハーブティ
- ・ベッツ・フォー・ライフ・ジャパン-愛犬マナー教室、ドクタードック紹介
- ・宝塚NPOセンター-NPO、起業、ボランティア相談等

会員募集・継続のお願い

あなたの志が社会を変える活動を支えています。NPO・NGOの先駆的で創造的な活動は、変革の担い手としての新しい市民社会の実現に貢献しています。志と情熱をもって社会の課題に挑戦する人を支援しています。皆様の会費や寄付は活動資金として、ボランティアとして提供される知識や技術は活動の活力となっています。どうぞ一緒に会員としてNPO・NGOを支える活動に参加してください。

[正会員]個人会員 10,000円/団体会員(NPO・市民活動団体) 10,000円/法人会員30,000円/[準会員] 3,000円

銀行振込:三菱東京UFJ銀行 阪急宝塚出張所 普通預金3629422口座名義 特・宝塚NPOセンター

郵便振替:口座番号 00930-8-77117 口座名義 宝塚NPOセンター 郵便振替用紙をご利用下さい

ご支援ありがとうございます (順不同、敬称略 2010.9.20 現在)

新たに入会された皆さん【準会員】前田高志 寄付をいただいた皆さん 前田高志、鶴丸第二、石川 純

特・宝塚NPOセンター

「近畿ろうきんパートナーシップ制度」

でご参加のボランティアのHさんは
洋裁がお得意。早速ふれあいの祭典で
使う「防災すきん」や等身大の「てる
てる坊主」を制作頂きその出来栄えに
スタッフ一同感謝。また素晴らしいボ
ランティアが誕生しました(Y.O)

〒665-0845
宝塚市栄町2-1-1 ソリオ1-3F
Tel 0797-85-7766
Fax 専用 0797-85-7799
利用時間 9:00~18:00
休館日 日・祝日・年末年始
Email zukanpo@hnpo.net
URL http://voluntary.jp/zukanpo/

生きがいごとサポートセンター-阪神北 阪神北NPOハウス

Tel 0797-87-4350
Fax 専用 0797-87-4351
Email cdc@hnpo.net
URL http://voluntary.jp/hnpo-net/

〒665-0021
宝塚市中州1-7-20
ハイツ村上101号
阪急逆瀬川駅から南口
方面へ徒歩8分